

ベトナム初の溶接管理技術者のための研修会及び資格試験の実施

勝又 美穂子

グローバル D&I 推進室 准教授

2024年11月19日（火）～22日（金）の4日間、ベトナムで初となる溶接管理技術者のための研修会が開催されました。研修会修了の翌日、23日（土）には筆記試験が実施されました。この資格は日本では日本溶接協会が認証しており、ベトナムでの実施においては、ハノイ工科大学と日本溶接協会が連携して認証を行い、研修会の実施には当研究所も協力しました。今回は、当研究所及びハノイ工科大学が溶接技術者育成を目指して取り組んでいる JICA 草の根技術協力事業の一環として開催されました。

研修会は Welding Engineer (WE) レベル (WES 8103* 1 級と同等) と Associate Welding Engineer (AWE) レベル (同 2 級と同等) の 2 コースを開催しました。受講者はそれぞれ WE が 15 名、AWE が 7 名となり、講師は本学接合研の浅井教授、三上教授、門井准教授、及び熊本大学の寺崎教授がご担当されました。また、日本溶接協会から事務局に渡航いただきました。本コースの実施言語は全て英語で、開催前から受講者からは不安の声が

多く聞かれましたが、特に WE のコースについては溶接分野での経験豊富な受講者が多く、質問等も活発にやり取りされ、有意義な研修会となりました。

ベトナムでは産業基盤の更なる強化と、次なる産業ステージへの展開には溶接技術者育成の加速化が欠かせません。溶接技術の向上と継続的な質の担保には国際レベルの資格制度の導入と普及は喫緊の課題です。今回の研修会及び資格試験の実施は溶接技術者の育成促進の大きな一歩となりました。ハノイ工科大学の機械工学部溶接グループを中心とした実施体制の整備と定着には、しばらくの間日本からの技術移転と連携が不可欠です。

当研究所とハノイ工科大学との連携の下、2023年1月に現地に設立した接合科学研究所 HUST-UOsaka としても、研修会及び資格試験により育成されたベトナムの溶接技術者と、長期的には技術課題の解決や研究連携に取り組む好循環サイクルの構築を期待しています。

*日本溶接協会規格



研修会の様子 (WE レベル)